

## 平成23年度 第6回 経営協議会議事要録

日時 平成24年3月15日（木）15時00分から17時00分  
場所 如水会館3階「けやきの間」  
出席者 【委員】山内学長、  
天野委員、勝方委員、横山委員、北尾委員、大塚委員、中島委員  
落合委員、小川委員、沼上委員、蓼沼委員、林委員  
【陪席者】渡邊監事、金田学長特別補佐

議事に先立ち、前回（平成23年度第5回）の議事要録について確認が行われた。

### 審議事項1. 平成24年度年度計画について

小川理事より、平成24年度年度計画について、資料2に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、文部科学省への提出までに文言等の修正が生じた場合には、大学に一任いただくことが了承された。

なお、審議の過程において、委員より以下の意見及び質問があった。

- ・ 他大学との戦略上の違いなどが明確になった場合、計画等を見直すのか。
- ・ 中期計画の進捗状況等を具体的に明示する年度計画とは別に、本学独自の経営戦略等についても、経営協議会の場においてお示しいただきたい。

### 審議事項2. 産学官連携推進本部の設置について

小川理事より、産学官連携推進本部の設置について、資料3に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

### 審議事項3. 東アジア政策研究センターの設置について

小川理事より、東アジア政策研究センターの設置について、資料4に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、審議の過程において、委員より以下の意見があった。

- ・ 学外からの参画者としてセンター客員研究員を置くとあるが、他大学では東アジアで長年現地取材を行ってきた新聞記者に講義担当させている例も見受けられるので、東アジアに精通した新聞記者等を活用してはどうか。

### 審議事項4. イノベーション研究センターの改組について

小川理事より、イノベーション研究センターの改組について、資料5に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、審議の過程において、委員より以下の質問があった。

- ・ 学内共同教育研究施設から商学研究科附属研究施設への改組により、センターの組織的な位置付けや役割が変わるのか。

### 審議事項5. 平成23事業年度における経営努力により生じる利益（見込）及びその用途について

財務管理課長より、平成23事業年度における経営努力により生じる利益（見込）及びその用途について、資料6に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### 審議事項 6. 平成 24 年度予算について

小川理事及び財務部長より、平成 24 年度予算について、資料 7 に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### 審議事項 7. 平成 24 年度資金運用方針について

財務部長より、平成 24 年度資金運用方針について、資料 8 に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、審議の過程において、委員より以下の意見があった。

- ・ 運用の基本的な考え方の前段では、「元本の安全性の確保を重視し、できる限り満期償還額が平準化するよう運用期間を設定するものとする」とあるが、後段には「流動性の高い有価証券等によるものとする」とあり、矛盾しているのではないか。
- ・ 金利動向を勘案して運用できる資金を確保していることや、満期償還額が平準化するよう運用期間を 3 年から 7 年に設定していることは賢明である。

#### 審議事項 8. 給与改定について

人事労務課長より、給与改定について、資料 9 に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### 審議事項 9. 職員期末・勤勉手当支給細則、職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する細則の一部改正について

人事労務課長より、職員期末・勤勉手当支給細則、職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する細則の一部改正について、資料 10 に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### 審議事項 10. 理事の在職期間を有する職員（平成 24 年 3 月 31 日付け定年退職）の退職手当の取扱いについて

人事労務課長より、理事の在職期間を有する職員（平成 24 年 3 月 31 日付け定年退職）の退職手当の取扱いについて、資料 11 に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### 報告事項 1. 一橋大学における国際連携に係る自己点検・評価報告書について

小川理事より、一橋大学における国際連携に係る自己点検・評価報告書について、資料 12 に基づき報告があった。

本件に関し、委員より以下の意見があった。

- ・ 国際連携に限定せず、国際交流の視点で自己点検・評価を行った場合、もっと広がりを持った内容の報告書になったのではないかと。また、国際連携に限ったとしても、本学の国際交流実績等のデータも明示され、実のある国際交流を推進していただきたい。

最後に学長から、任期満了により退任される 3 名の委員の紹介と各委員に対する謝辞が述べられた。

以 上